

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	医学史	講義	1	20	基礎柔道整復学1.2.3
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
柔道整復学科 1年	錦織輝礼、中川裕貴、南沢悟 小澤恵美、太田直樹、小澤健史	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
授業目標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
現代医学が今日にいたるまでの歴史について説明できる力を身に着けます。また、その中でも、柔道整復学の沿革については柔道整復師の認識の第三者に対し、言語化・文書化をわかりやすく行い説明できる力を形成します。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
医学の歴史を、西洋医学(いわゆる現代医学)・東洋医学の分野の両者について学習します。西洋医学の根幹をなす基礎医学・その基盤の基とする臨床医学の沿革についても学びます。					
教科書・参考書					
公益社団法人 全国柔道整復学校協会監修 解剖学 生理学 外科学 柔道整復学 理論編					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 礼節を重んじ「授業前の準備」「授業開始・終了時のあいさつ」「教室使用後の清掃」を確実に行うようにして下さい。 ● 模型・書籍・プロジェクターを授業で使用することがあるため、当番は準備の有無を担当教員に確認するようにしてください。 ● やむを得ない理由以外での欠席においてプリントの再配布はおこないません。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	授業態度・出席率・課題(実施した場合)にて評価を行う。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		医学の歴史 ①基礎医学の歴史について文献をお読み理解できる。 基礎医学の歴史・重要人物を知る。		/	専任教員
2		医学の歴史 ②基礎医学の歴史について文献をお読み理解できる。 基礎医学の歴史・重要人物を知る。		/	専任教員
3		医学の歴史 ③基礎医学の歴史について文献をお読み理解できる。 臨床医学の歴史・重要人物を知る。 外科・整形外科領域		/	専任教員
4		医学の歴史 ④基礎医学の歴史について文献をお読み理解できる。 臨床医学の歴史・重要人物を知る。 外科・整形外科領域		/	専任教員
5		医学の歴史 ⑤基礎医学の歴史について文献をお読み理解できる。 臨床医学の歴史・重要人物を知る。 内科領域		/	専任教員
6		東洋医学の歴史 ⑥東洋医学に分類される、鍼灸・あんまマッサージ指圧・柔道整復についての歴史変遷にそった発展を説明できる。		/	専任教員
7		東洋医学の歴史 ⑦東洋医学に分類される、鍼灸・あんまマッサージ指圧・柔道整復についての歴史変遷にそった発展を説明できる。		/	専任教員
8		東洋医学の歴史 ①柔道整復術の歴史について説明できる。		/	専任教員
9		東洋医学の歴史 ②柔道整復術の歴史について、自ら言語化し説明できる。		/	専任教員
10		西洋医学・東洋医学について 西洋医学の歴史・東洋医学の歴史を踏まえ、現代医学の成り立ちが説明できる。		/	専任教員